

# フィリピン残留2世ダビッドさん 父の国で涙の対面

## 日本の姉弟らに迎えられ

戦争のため父と生き別れになったフィリピン残留日本人2世の本田ダビッドさん(67)は、比ルソン島在住の7日、初来日した。異母弟の本田孝明さん(64)ら大勢の親族を迎えられ「人生に欠けていたものが埋まった」と涙を流して喜んだ。10日まで県内に滞在し父貞雄さん(故人)の古里・甲佐町で墓参りなどをする。



熊本空港に到着し孝明さん(右)ら多くの親族に迎えられた本田ダビッドさん(中央)

結婚した。戦時中は日本軍の通訳として徴用された。日本の敗戦とともに強制収容。その間

に生まれたダビッドさんは家族と会えないまま46年、日本に強制送還された。ダビッドさんは母方の祖父母に育てられ、現在はルソン島の教会で妻と牧師をしている。

今回、残留日本人2世の日本国籍取得支援をしている日本財団とNPOの調査で身元が判明し孝明さんらと会えることになった。熊本空港で記者会見したダビッドさんは「父に会ったことがないのが心の痛みだったが、姉や弟たちに会えた。人生には素晴らしいこともある」と感無量の面

持ち。孝明さんも「父は生前『ダビッドたちを日本に連れて来たい』と願っていた。念

願が少しはかなったと思う」と喜んだ。

【取連剛】